

関西学院大学主催
春季人権問題講演会

障害と人権を考える

—学びの権利と教育のあり方—

◆ 2026年 6月3日(水)

● 11時00分 ~ 12時30分

場所 / 神戸三田キャンパスVIII号館403教室

および オンライン同時配信

むらた じゅん

◆ 講師 / 村田 淳氏

(京都大学 学生総合支援機構・准教授 / 障害学生支援部門長、
ディスアビリティ・インクルージョンセンター長)

◆ 参加方法 / 事前申し込み不要

詳細は以下のURLまたは
QRコードをご確認ください。

<https://kg-humanrights.jp/m8af773>



*本講演会では、手話通訳・パソコンテイクによる情報保障を予定しています。

■ 講演内容

障害のある人と権利というテーマについて、どのようなことを思い浮かべるでしょうか。そもそも権利とは普遍的なものであるはずで、日常的な営みの中で何が権利なのかということを考えることは少ないかもしれませんが、障害という切り口ではこの権利というものがかたがた重要な話題となります。

昨今、国際的にも国内でも障害と権利をとりまく動向がめまぐるしく変化しています。学びや教育という側面においてもそれは同様で、例えば、大学等の高等教育機関においては障害等のある学生が増加しており、各大学等では支援体制や合理的配慮の提供に関するシステムの構築が模索されつつあります。ただ、仕組みを整えるということが本質ではなく、その仕組みが有効に作用するための意識や態度が大切な要素(前提)になるのではないのでしょうか。

本講演では、障害と権利について、主に大学等での権利保障に関する取り組みの視点から考える機会にしたいと思います。

■ 講師紹介

2007年より、京都大学における障害のある学生の支援に従事。組織的な支援体制の構築や合理的配慮の提供に関するシステムを構築するなど、組織・部署のマネジメント業務を担う一方、障害のある学生に関する相談・支援コーディネーター・各種コンサルテーションをはじめ、支援現場で様々な取り組みを行う。文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会(第二次まとめ、第三次まとめ)」の委員、全国高等教育障害学生支援協議会(AHEAD JAPAN)の業務執行理事、又複数の大学等におけるアドバイザーなど、対外的な活動も担いつつ、日々、教育機関及び地域社会において障害と権利に関する取り組みを行う実践家。

*車いすでご来場の方は、お席の配慮等をいたしますので事前にご連絡ください。

総合テーマ

「インクルーシブな
社会の実現を
目指して」
(2025 ~ 2029年度)

関西学院大学人権教育研究室

Tel. 0798-54-6720 / Mail : human-rights@kwansei.ac.jp